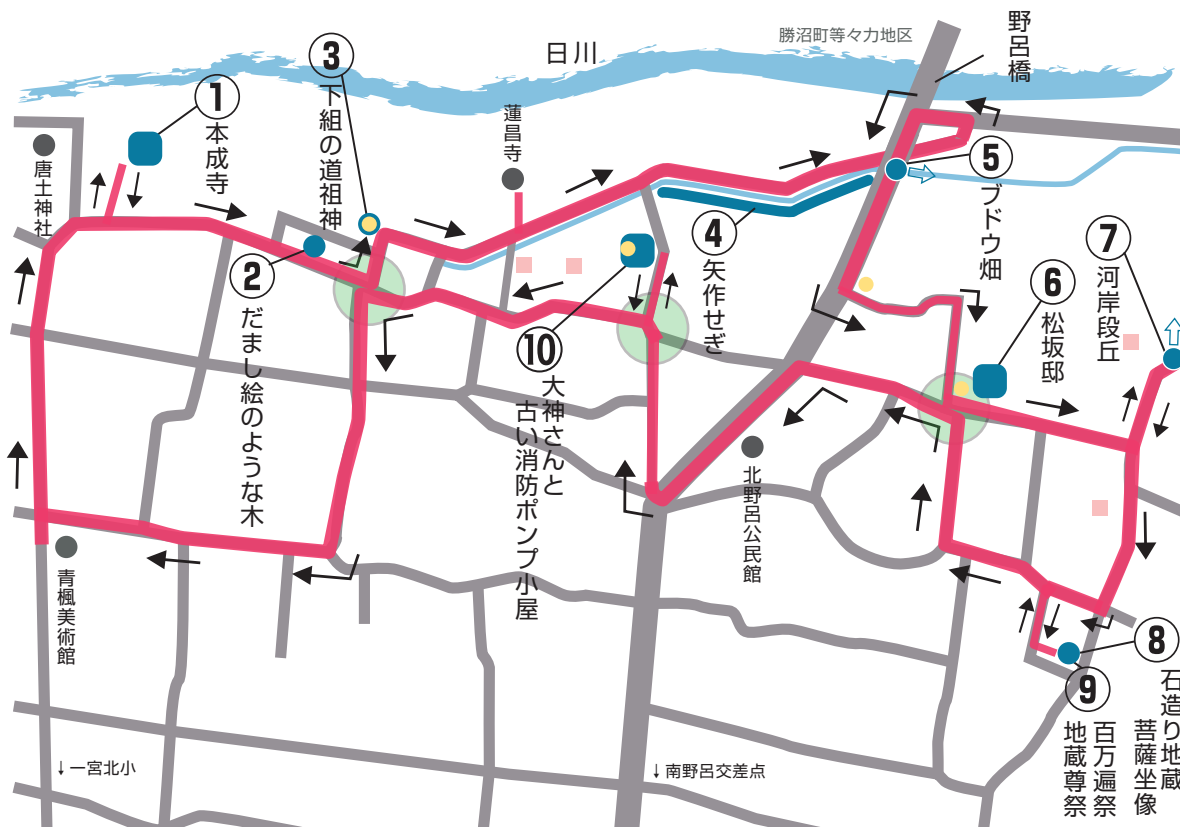


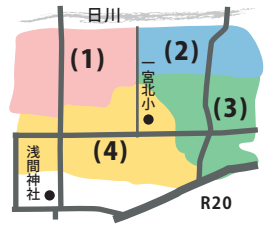
地域再発見 ウォーキングマップ

— 地域の日常にあるキラリと光るお宝を地域資源として活かしていくためのウォーキングマップです —

笛吹市一宮北地区 (2) 北野呂



(1)上矢作、(3)南野呂、(4)中尾地区のマップもあります。



一周の目安
60分(2,900歩)

- 道祖神
- 屋敷墓
*畑や庭などに建てられた祖先の墓。
- 当て曲げの辻
*角をすらした交差点。地図(↑)注釈参照。

きたのろ 北野呂は、古代にあった能呂郷(のろのさと)の遺称で、日川から引いた水路が張り巡らされた水の豊かな集落です。

①本成寺

寺の石柱門を入ると、左に「皺の手を 打つも嬉しや 掌の豆」と書かれた歌碑があります。墓地の奥には、大きな榎、柿の木、草庵を彷彿させる本堂(庫裡)があります。さらに奥は、日川の土手になっています。



②だまし絵のような木

道路脇の民家の庭に、大きな一本の木が見えます。歩いていくと、一本だと思った木が途中からしっかりと二本に分かれています。あら不思議!! この木、なんの木!?



③下組の道祖神

道祖神は「塞(さい)の神」と呼ばれ村の境を守る神です。北野呂では道祖神が4カ所で祭られています。下の道祖神場は、丸石の道祖神やお地蔵様が祭られ、お祭りの時に旗を立てる石の柱もあり、みんなの集う広場でした。



④矢作せぎ(石積み水路と蛭)

日川から取り込まれた農業用水路には、見事な石積みが形成されています。この水路は「矢作せぎ」といわれ、地域の方たちにより蛭の幼虫が放流され、夏の夜を彩っています。



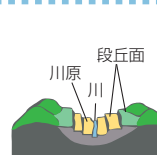
⑤ブドウ畑(野呂橋南詰からのビューポイント)

山裾を回り込んだ日川の河岸段丘と、ぶどう棚の下をまっすぐに伸びてくる矢作せぎを見る絶好のビューポイントです。晩秋から冬のブドウの落葉時期には、矢作せぎがはっきりと確認できます。



⑥松坂邸

築100年を越える古民家で、昭和19年までは製糸工場を営まれていました。2階が職人の宿舎になっていました。ナマコ壁や南側水路と道祖神、当て曲げの辻が風景を形作っています。庭には珍しい「女柳」の樹があります。



⑦河岸段丘

川の働きでできた平らな土地(川原)が、浸食作用により河床がさらに低く掘り下げられて新しい川原ができます。その繰り返しで段丘となります。このビューポイントでは、幾重かの段丘形成を見ることができます。



⑧石造り地蔵菩薩坐像(地蔵堂)

ブドウ畑の中にある小さな地蔵堂は、正住寺があった場所といわれています。この石のお地蔵様は、約650年前の鎌倉時代末期に造られたものです。流れるようなヒダの衣をまとい、やさしい顔立ちをしています。誰かに似ていませんか?



⑨百万遍祭(7/16)、地蔵尊祭(9/22)

7月16日に行われる百万遍念仏は、みんなで大きな数珠を持ち「南無阿彌陀仏」と念仏を唱えながら回します。念仏は百万回唱えると祈りがかなうと言われています。先祖の供養や災害を防ぐなど様々な祈りを百万遍の数珠がつなぎます。



⑩大神さんと古い消防ポンプ小屋

「蚕影神」を祀って、地域では「大神さん(だいじんさん)」として親しまれています。「神」と言う字は、ちょっと変わっています。現地でご確認ください。敷地内の古い小屋には、昭和の香り漂う消防ポンプが眠っています。